

取扱いの趣旨

う蝕薬物塗布処置は、う蝕の進行抑制を目的として行われるものであり、算定にあたっては、「う蝕（C）」病名の記載が適切であることから、「う蝕（C）」以外で当該処置の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】 《令和3年2月22日》

97 う蝕薬物塗布処置③

○ 取扱い

原則として、「う蝕（C）」以外の傷病名で、う蝕薬物塗布処置の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

う蝕薬物塗布処置は、う蝕の進行抑制を目的として行われるものであり、算定にあたっては、「う蝕（C）」病名の記載が適切である。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

う蝕薬物塗布処置を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（C以外の歯科疾患がなくう蝕薬物塗布処置を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、う蝕薬物塗布処置が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

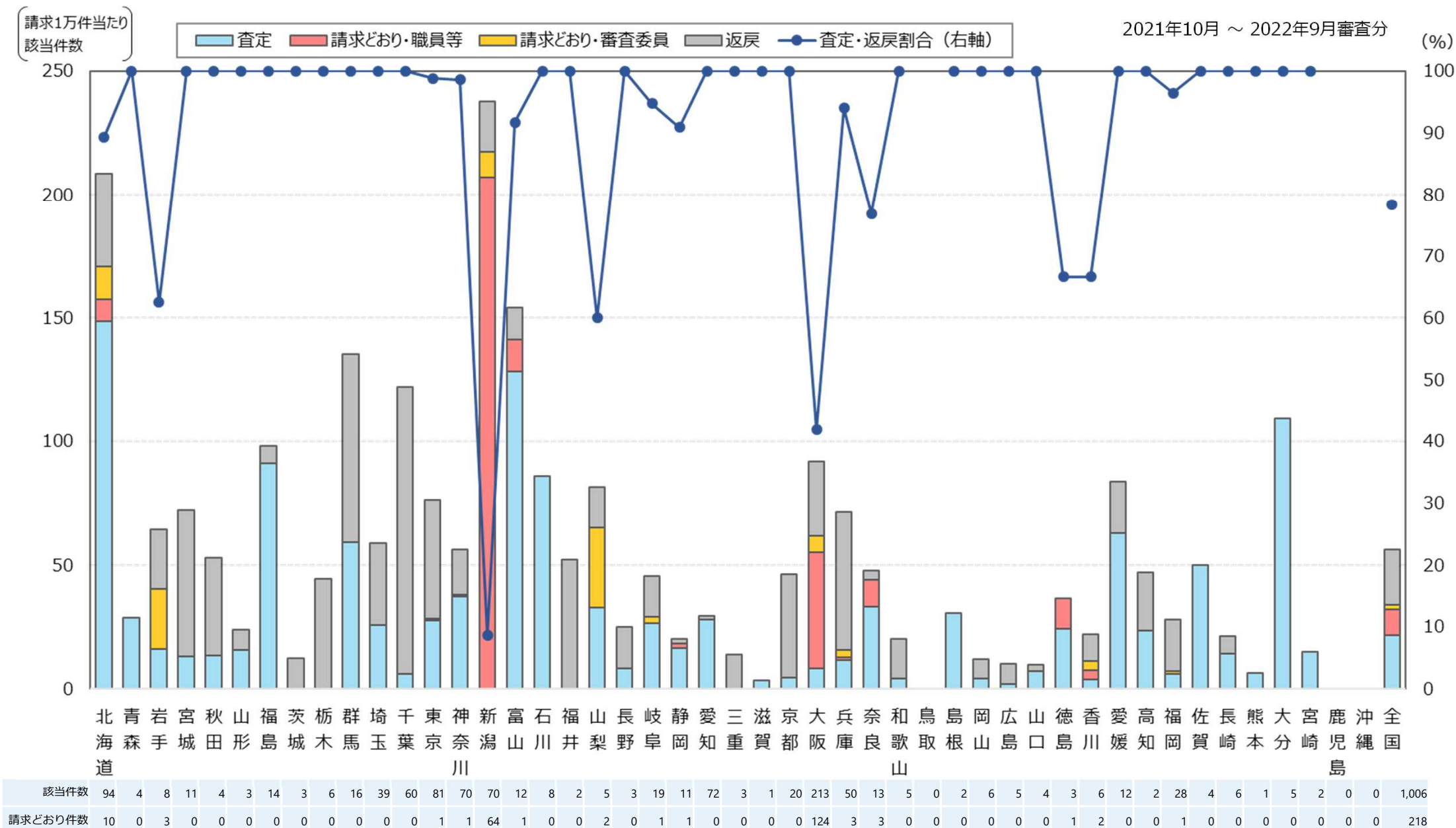
審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 78.33%
- 検証を必要とする都道府県 7

検証観点	検証を要する都道府県	備考
査定・返戻割合が低い都道府県	新潟、大阪、山梨、岩手、香川、奈良、北海道	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員等	新潟、大阪、奈良、北海道、香川	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	山梨、岩手、北海道、新潟、大阪、香川	〃
該当件数（全国）	C以外の歯科疾患がなくう蝕薬物塗布処置を算定	1,006件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	788件
検証を必要とする審査	請求どおり	218件

事例97 「う蝕（C）」以外に対するう蝕薬物塗布処置の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】 C以外の歯科疾患がなくう蝕薬物塗布処置を算定しているレセプト件数